



広報

もりやま



12/5

**手をつなぐ育成会を支援するえんぴつ屋さん登場
特別支援学級児童が「いらっしやいませ」**

立入が丘小学校で、「にこにこえんぴつ屋さん」が開店しました。特別支援学級の児童ら25人が、鉛筆や消しゴムなどの文房具を事前の注文通りに用意して販売。体験を通して生きる力を養う学習が行われました。児童らはお客に元気な声で「いらっしやいませ」と声を掛け、注文通りの商品を入れた封筒とお金を交換していました。これは滋賀県手をつなぐ育成会への支援の一環として、各小学校でも実施しています。

もりやまハーフマラソン**約1,500人が健脚競い湖岸駆け抜け**

SGホールディングスグループ健康保険組合守山陸上競技場を発着点に第49回たるのまち守山ハーフマラソンが開催され、市内外から約1,500人の市民ランナーが参加して、琵琶湖畔や田園風景、市民運動公園などを走り健脚を競いました。隣接して設置されたうまいもの広場では、コースを走破したランナーらが、ボランティアの用意した豚汁で体を温めていました。

12/9

**もりやまいち開催****600年の歴史を誇る伝統行事**

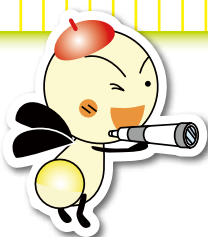
平成最後のもりやま「あきない」いちと題して、中山道守山宿で開催されました。歩行者天国となった中山道が多くの出店にぎわう中、訪れた人たちは中学生が作った矢島かぶらの料理に舌つづみを打ったり、にぎわい広場で行われたイベントに見入ったりと、守山の魅力を存分に楽しんでいました。

12/9

**矢島かぶらの収穫祭
地元の民話や郷土料理も**

十二里自治会や地元子ども会などが矢島かぶらの収穫祭を行い、子どもからお年寄りまで約50人が参加しました。子どもたち15人は畑で大きく育った茎葉を両手で掴み、「えいやっ」と引いて紫と白の独特な矢島かぶらを収穫しました。収穫の後は自治会館で地元で伝わる民話「いっぽんこうじ」の紙芝居と、矢島かぶらを使った豚汁に米粉団子を入れた「いっぽんこうじ力汁」を味わって、玉津の文化に親しみました。

12/23



守山市PRキャラクター「もーりー」

(広報もりやまは右記施設に設置) 市役所、各地区会館、JR守山駅(駅前総合案内所)、市民サービスセンター(モリー2階)、図書館、すこやかセンター、市内金融機関、市内郵便局、市内平和堂各店とアプラザ栗東、丸善守山店、市内セブンイレブン(一部店舗)などに設置しています。スマートフォンアプリでもご覧いただけます。



「マチイロ」アプリをインストール
ここからアクセス



「Sidebooks」アプリをインストールし、「ちいき本棚」を選択
ここからアクセス

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市は責任を負いません。

守山ニュース 「守山ニュース」びわ湖放送
毎月第1・3金曜日

「本の森がオープン」守山市立図書館 後編(再放送)
1月18日(金)18:45~18:50
「第一なぎさ公園の菜の花畑」
2月1日(金)18:45~18:50